

ごあいさつ

湘南キャンパスが位置する北金目台地の東部には、多くの遺跡が存在していました。それらは真田・北金目遺跡群と呼ばれています。この遺跡群の広がりには、湘南キャンパス内にもおよんでおり、敷地内の約7箇所が、平塚市内の遺跡として登録されています。

東海大学では、校地内遺跡調査委員会を設置し、校舎建設やキャンパスのメンテナンスなどによって遺跡が壊されてしまう場合、工事に先立って発掘調査を行い、遺跡のもつ情報を記録してきました。調査を行った各遺跡の時代は多岐にわたり、遺跡の性格や内容も様々ですが、どの遺跡からも貴重な考古学的情報や資料が得られました。それらの資料は、現在、3号館地下の一角に保管されています。

この度、普段皆様にお目に掛ける機会が少ないキャンパス内遺跡のことをもっと知っていただこうと、考古学専攻1年生が企画した展示会『校地内遺跡展—湘南キャンパスに隠された遺跡たち—』を開催することになりました。彼ら自身もはじめて触れる遺跡・遺物を一生懸命紹介した手作り展示会です。このささやかな展示会が、皆様にとっても隠された遺跡・遺物に触れていただく機会となれば幸いです。

東海大学校地内遺跡調査団

団長 秋田かな子